

事務事業名	民間保育所委託事業				担当	健康福祉部 児童家庭課 保育係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8035		
施策名	2	子育て支援の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	児童福祉法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和53 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	2. 児童福祉費	4. 保育所費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	保育所は、児童福祉法に基づく児童福祉施設であり、保護者の委託を受けて、保育に欠ける児童の保育を行うことを目的としており、市町村が保育の実施主体となっている。民間保育所の運営費は市の委託料によって賄われており、市は委託児童数に応じ通常保育に必要な運営費を支払い、その財源は、保育料のほか、国が1/2、県が1/4、市が1/4の割合で負担している。現在は6園の民間保育所に対し運営費を委託料として支出している。また、委託料のほか、延長保育、障害児保育、休日保育等の特別保育の実施に要する費用に対し、補助金を交付している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 運営委託；保育委託（市） 運営費請求（事業者） 支払（市）〔毎月〕 運営補助；補助申請（事業者） 交付決定（市） 請求（事業者） 支払（市）〔年3回〕  23年度計画 同上	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	民間保育所定員	人	510	510	700	730	730	
	イ	民間保育所入所者数	人	501	526	730	746	767	
	ウ	特別保育実施数	箇所	4	4	6	6	6	
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 就学前児童（0歳児～5歳児）及び民間保育事業者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	就学前児童数	人	4140	4099	4814	4717	4668	
	イ	事業者数	箇所	4	4	6	6	6	
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 良好な保育環境の確保	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	入所を希望する児童数（私立）	人	557	596	770	804	812	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 子育てと仕事の両立を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	仕事と子育てが両立できている世帯の割合	%	49.0	60.8	59.8	55.3	57.6	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	131,978	131,097	194,507	181,173	0
			県支出金	千円	65,989	76,106	106,609	130,439	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	123,349	127,523	165,775	164,240	0
			一般財源	千円	173,594	157,276	231,056	232,155	0
			事業費計(A)	千円	494,910	492,002	697,947	708,007	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	192	192	192	192	0
			人件費計(B)	千円	804	802	779	819	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	495,714	492,804	698,726	708,826	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・児童福祉法（昭和22年法律第164号）において、保育所の入所等においては、市町村が行う事務となった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・少子化対策、待機児童対策、多様な保育ニーズ等に対応するため、順次、利用しやすい保育所制度に改められている。 ・本市の保育所は、昭和52年までは公立保育所のみで実施されていたが、民間保育所として昭和53年4月に西真岡保育園、平成12年4月に真岡めばえ保育園、平成15年4月に萌丘東保育園が開園、平成19年4月に西真岡第二保育園が開園している。平成21年3月に旧二宮町との合併によりにのみや保育園が、また同年4月に真岡あおぞら保育園が新たに開園している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・希望する保育所に入所できるように（保護者） ・運営補助の増額（事業者）

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 児童福祉を推進するものであり、子育て支援の充実は市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 児童福祉法に基づく市町村の事務であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 児童福祉法に基づく市町村の事務であり適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 全入所希望者を対象とし、国の基準に基づき実施しているので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 保育は、法に基づく市の事務のため、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 民間保育所の運営費は、国・県の基準により交付しており、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小の人件費のため削減の余地がない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 所得に応じた徴収基準による受益者負担があるので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							